

## 精神1：摂食障害、睡眠障害、物質関連障害

日時：9月5日（金） 1時限

担当者：松岡 孝裕（神経精神科・心療内科）

内容：

### 1. 摂食障害

1. 摂食障害の分類を説明できる。
2. 神経性無食欲症、神経性過食症の症候・治療を説明できる。
3. 摂食障害の演習問題を解き正解できる。

### 2. 睡眠障害

1. 睡眠障害の分類を説明できる。
2. 不眠症について症候・治療を説明できる。
3. 睡眠関連呼吸障害群、中枢性過眠症群について症候・検査所見・治療を説明できる。
4. 概日リズム睡眠一覚醒障害群について症候・治療を説明できる。
5. 睡眠随伴症群、睡眠関連運動障害群について症候・検査所見・治療を説明できる。
6. 睡眠障害の演習問題を解き正解できる。

### 3. 物質関連障害

1. 物質関連障害の分類を説明できる。
2. アルコール使用による精神および行動の障害について症候・治療を説明できる。
3. 精神作用物質（特に覚醒剤）により精神および行動の障害について症候・治療を説明できる。
4. 物質関連障害の演習問題を解き正解できる。

キーワード：

ユニット：

肥満への恐怖(fear of gaining weight)、ボディイメージのゆがみ(distorted body image)、概日リズム睡眠障害(circadian rhythm sleep disorders)、睡眠随伴症群(parasomnias)、アルコール依存症(alcohol dependence syndrome)、精神作用物質による精神障害(mental disorder due to psychoactive substance use)

★コアカリ：

D-15-3) 摂食障害(Eating disorder)、D-15-2) 不眠(insomnia)、D-15-3) 薬物使用に関連する精神障害(mental disorder due to psychoactive substance use)、D-15-3) アルコール依存症(alcohol dependence syndrome)

国試出題基準：

神経性無食欲症(Anorexia nervosa)、神経性過食症(Bulimia nervosa)、睡眠時無呼吸症候群(sleep apnea syndrome)、ナルコレプシー(narcolepsy)、レム睡眠行動障害(REM sleep behavior disorder)、アルコール依存症(alcohol dependence syndrome)、精神作用物質による精神病性障害(psychotic disorder due to psychoactive substance use)

教科書：

◆ 標準精神医学 第8版 医学書院 該当ページ p393-402 第16章 摂食障害、p403-420 第17章 睡眠-覚醒障害、p421-441 第18章 物質関連障害および嗜癖性障害

予習：

指定された教科書の p393-402 第16章、p403-420 第17章、p421-441 第18章に目を通しておく。  
(30分)

復習：

講義配布資料を見直しておく。(30分)

## 精神2：統合失調症

日時：9月9日（火） 2時限

担当者：桑原 斉（神経精神科・心療内科）

**内容：**

1. 統合失調症の症候と診断を説明できる
2. 統合失調症の救急治療を説明できる
3. 統合失調症の薬物療法について説明できる
4. 統合失調症の心理社会的支援について説明できる

**キーワード：**

**ユニット：**

統合失調症、幻覚妄想、抗精神病薬

**★コアカリ：**

D-15-2, D-15-3

被害妄想、幻聴、陰性症状、第二世代抗精神病薬、精神科的リハビリテーション

**国試出題基準：**

Ⅱ-2-B-①②③

**教科書：**

◆ 標準精神医学 第8版 医学書院 157-161, 173-186, 273-297

**参考書：**

◆ クエスチョンバンク 2026

**予習：**

教科書の該当ページおよびそれに準じた国家試験過去問を熟読しておく（30分）

**復習：**

授業の復習、教科書の該当ページおよびそれに準じた国家試験過去問を熟読（30分）

**精神3：小児精神疾患、認知症、その他**

日時：9月9日（火） 3時限

担当者：桑原 斉（神経精神科・心療内科）

**内容：**

1. 精神発達について発達理論を踏まえて説明できる。
2. 知的能力障害について説明できる。
3. 限局性学習症について説明できる。
4. 自閉スペクトラム症について説明できる。
5. 注意欠如・多動症について説明できる。
6. チック症（トゥレット症）について説明できる。
7. 小児期発症流暢症（吃音）について説明できる。
8. 認知症の診断と治療を説明できる

**キーワード：**

**ユニット：**

ライフステージ、知的障害＜精神遅滞＞、特異的発達障害（限局性学習症）、広汎性発達障害（自閉スペクトラム症）、多動性障害（注意欠如・多動症）、チック障害、吃音{症}、認知症

**★コアカリ：**

D-15-3

**国試出題基準：**

Ⅱ-1-A、Ⅱ-5-A、Ⅱ-5-B、Ⅱ-5-C、Ⅱ-5-D、Ⅱ-5-I、Ⅱ-5-J

**教科書：**

◆ 標準精神医学 第8版 医学書院 P69-P82、P253-P269（I 発達障害）、P443-P478

**参考書：**

◆ クエスチョンバンク 2026

**予習：**

教科書の該当ページおよびそれに準じた国家試験過去問を熟読しておく（30分）

**復習：**

授業の復習、教科書の該当ページおよびそれに準じた国家試験過去問を熟読（30分）

**精神4：リエゾン精神医学、せん妄、器質・症状性精神障害**

日時：9月9日（火） 4時限

担当者：大西 秀樹（国セ 精神腫瘍科）

**内容：**

1. リエゾン精神医学の意義について説明できる
2. 身体疾患患者に多い精神疾患について説明できる
3. 身体疾患を有する患者の精神状態の評価、診断および治療について説明できる
4. 身体疾患による自殺の現状を説明できる。
5. せん妄についての病態、診断、治療について説明できる

**キーワード：**

**ユニット：**

リエゾン精神医学、精神腫瘍学、せん妄、うつ病、適応障害

**★コアカリ：**

D-15-1, D-15-2, D-15-3

診断、治療、コンサルテーションリエゾン精神医学

**国試出題基準：**

せん妄、気分障害、重度ストレス反応および適応障害

**教科書：**

◆ 標準精神医学 第8版 医学書院 167-199 第7章

**予習：**

指定された教科書の該当ページについて読んでおく（30分）

**復習：**

ハンドアウトの内容の学習後、教科書の該当部分に目を通す（30分）

**精神5：気分障害**

日時：9月12日（金） 4時限

担当者：松尾 幸治（神経精神科・心療内科）

**内容：**

1. うつ病の症候と診断を説明できる
2. 双極性障害（躁うつ病）の症候と診断を説明できる
3. うつ病の薬物療法について説明できる
4. 双極性障害の薬物療法について説明できる
5. 気分障害の心理社会的支援について説明できる

**キーワード：**

**ユニット：**

うつ病、躁病エピソード、うつ病エピソード、抗うつ薬、気分安定薬

**★コアカリ：**

D-15-2, D-15-3

抑うつ気分、思考抑制、爽快気分、誇大的、SSRI、SNRI、リチウム

**国試出題基準：**

Ⅱ-2-A-①、Ⅱ-2-A-②、

**教科書：**

◆ 標準精神医学 第8版 医学書院 162-166, 173-186, 299-324, 325-338

**参考書：**

◆ クエスチョンバンク 2026

**予習：**

教科書の該当ページおよびそれに準じた国家試験過去問を熟読しておく（30分）

**復習：**

授業の復習、教科書の該当ページおよびそれに準じた国家試験過去問を熟読（30分）

**精神6：てんかん、パーソナリティ障害**

日時：10月6日（月） 1時限

担当者：渡邊 さつき（神経精神科・心療内科）

**内容：**

1. てんかん診断とてんかん発作分類の概要を説明できる
2. てんかんの診断と治療の基本事項について説明できる
3. けいれんの鑑別診断を上げることができる
4. パーソナリティ障害の種類を上げることができる
5. 各パーソナリティ障害の特徴を説明できる

**キーワード：**

**ユニット：**

てんかん、てんかん発作、けいれん、脳波、パーソナリティ障害

**★コアカリ：**

D-2-4)-(7)発作性疾患, D15-3)パーソナリティ障害

**国試出題基準：**

1-B, 5-L

**教科書：**

◆ 標準精神医学 第8版 医学書院 479-490, 491-506

**予習：**

「標準精神医学」の該当部分と4年生の講義資料に目を通しておく。（30分）

**復習：**

講義配布資料を再読し、過去問を解いてみる。（30分）

**精神7：不安症、心的外傷およびストレス因関連障害、解離症、身体症状症、強迫症**

日時：10月9日（木） 3時限

担当者：吉益 晴夫（総セ 神経精神科）

**内容：**

1. 不安症の分類について説明できる
2. 身体症状症について説明できる
3. 強迫症について説明できる
4. 解離症と心的外傷及びストレス因関連障害の症状について説明できる
5. パニック症の治療について説明できる

**キーワード：**

**ユニット：**

解離性障害

**★コアカリ：**

D-15-2, D-15-3

パニック障害、身体症状症、不安障害

**国試出題基準：**

全般性不安障害、社交不安障害、心的外傷後ストレス障害、心気症

**教科書：**

◆ 標準精神医学 第8版 医学書院 339-366、367-378、379-392

**予習：**

教科書の該当ページに目を通す（30分）

**復習：**

配付資料を見ながら教科書の該当ページを確認する（30分）